BooT.oneテンプレート更新に伴う対応について_ver2.9.0

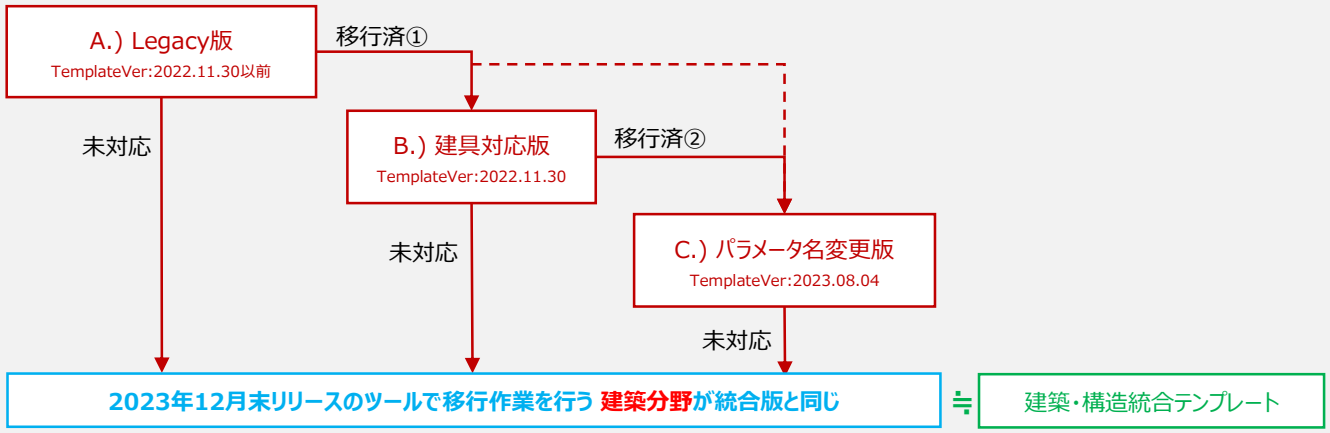
■概要

BooT.one ver2.9.0リリースの[テンプレート変換]ツールで対応できることやBooT.oneテンプレートの設定内容の
変更方法について案内致します。

BooT.one ver2.9.0のテンプレートでは、
サブカテゴリ(名称変更・削除)、ローダブルファミリタイプ(名称変更)、フィルタ(削除)の変更を行っております。
下図のB、Cへの移行と合わせて、ver2.9.0でリリース致しましたテンプレートと建築分野が同様の設定となる様、
変換手順を案内致します。
なお、構造統合により、集計表、ビューテンプレート名称などの分野記号の追加や図種番号の変更を行っておりますが、
本手順では分野記号、図種番号の変更内容は含まれておりません。
構造統合版のテンプレートの分野記号や図種番号で構築したい場合は、自社のBooT.oneテンプレートとの差分設定を
BooT.one建築構造統合テンプレートへ追加いただきます様お願い申し上げます。
対応等でお困りな点がございましたら、ヘルプデスクまでお問い合わせいただけますと幸いです。
☞お問い合わせはこちら：BooT.one コンタクト - ヘルプデスク

再掲：テンプレート移行方法_ver.2.8.1.pdf

<対応方法ツリー図>



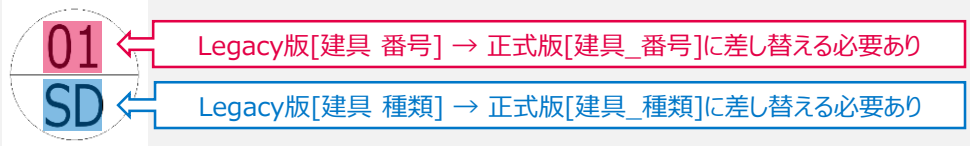
※今までの改訂内容の比較一覧についてはコンテンツサーバー内のContentsタブ → リリース関連案内(ver.2.9.0) 内にございます、
「BooT.oneテンプレート設定データ比較一覧_ver2.9.0.xlsx」をご参照ください。

BooT.one ver2.9.0以降の[テンプレート変換]ツールで対応できないこと

・自社独自の注釈記号ファミリ内にBooT.oneの**旧建具関連の共有パラメータ**を設定している場合のパラメータの差し替え

建具関連の共有パラメータはLegacy版、正式版で**GUIDが異なるため**、パラメータの差し替えが必要です。
※建具以外の共有パラメータはGUIDが一致しています。
ただし、現行の[テンプレート変換][テンプレート更新]ツールでの対応は自社独自のファミリカスタマイズ時には対応できません。
効率的な修正方法を検討次第案内致しますので、対応をお急ぎの場合はお手数をお掛け致しますが、
手修正にてご対応いただけますと幸いです。

▼例：[B_タグ_建具_ドア]ファミリのような建具関連の共有パラメータが設定されているラベル設定



<共有パラメータテキスト格納場所>
・Legacy版：C:¥Program Files¥toBIM¥BooT.one 20**¥Programs¥TREXSharedParameters_Legacy.txt（ex.[建具 ○○]パラメータ）
・正式版　：C:¥Program Files¥toBIM¥BooT.one 20**¥Programs¥B_SharedParameters.txt（ex.[建具_○○]パラメータ）
※20** = Revitバージョン

■[テンプレート変換]ツールが実行していること

下記フォルダパス内の設定データを参照し、変換を行っています。

・基本フォルダパス ⇒ C:¥Program Files¥toBIM¥BooT.one 20**¥Programs¥B1TemplateManager

※20**の[**]は各Revitバージョンの数字をご入力ください。以下同様。

・設定データ ⇒ B1TemplateManager.xlsx

設定データの内容はA,B列の記載情報で変更、削除、追加を判断しています。C列以降は必要に応じて設定してください。

	A	B	C	D	E	F
1	変更前の名称（必須）	変換後の名称（必須：削除は空）	対象カテゴリ（追加の時のみ）	タイプインスタンス（追加の時の	パラメータグループ（追加の時の	備考
2	PJ情報 承認者	PJ情報_建築_承認者				名称変更
3	PJ情報 検証者	PJ情報_建築_検証者				名称変更
4	SR Document GUID	空欄	空欄			削除
5	SR View Calculation Settings					削除
6	View Calculation Settings					削除
7	空欄	床_仕上	床	タイプパラメータ	構造	追加
8		床_下地	床	タイプパラメータ	構造	追加
9		床_構造体	床	タイプパラメータ	構造	追加
10		床_GW_文字	床	タイプパラメータ	スラブ形状編集	追加

変更

削除

追加

①プロジェクトパラメータ：リネーム・追加・削除

設定データ「B1TemplateManager.xlsx」内の[パラメータ]シートを参照。

リネーム：設定データの新旧情報を確認し、旧パラメータを削除し、新パラメータを共有パラメータテキストの情報を基に追加しています。

・・・GUIDが同じ場合は共存できないため、一度削除している。

追加：設定データのA列が空欄の場合、カテゴリ・タイプ/インスタンス情報・パラメータグループを確認し、共有パラメータテキストの情報を参照し追加しています。

削除：設定データのB列が空欄の場合、[プロジェクトパラメータ]ツール上からの削除と要素IDから算出できる情報も削除しています。

※共有パラメータテキスト格納先 ⇒ C:¥Program Files¥toBIM¥BooT.one 20**¥Programs

共有パラメータテキストデータ名 ⇒ B_SharedParameters.txt

②ローダブルファミリ：リネーム・更新

設定データ「B1TemplateManager.xlsx」内の[ファミリ]シートを参照。

該当ファミリ名をリネームし、下記フォルダパス内のファミリを上書きロードしています。

C:¥Program Files¥toBIM¥BooT.one 20**¥Programs¥B1TemplateManager¥Family

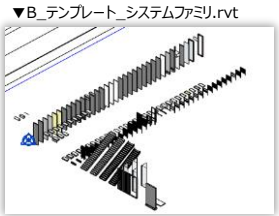
※ファミリのタイプ名も最新データと同様の設定になっております。

③システムファミリタイプ：リネーム

設定データ「B1TemplateManager.xlsx」内の[システムファミリ]シートを参照。

リネーム：基本フォルダパス内の「B_テンプレート_システムファミリ.rvt」から該当システムファミリタイプのインスタンス(配置)情報をコピーし、名称変更を行います。インスタンス情報はコピー後、削除します。

▼B_テンプレート_システムファミリ.rvt



④フィルタ：リネーム・追加・削除

設定データ「B1TemplateManager.xlsx」内の[フィルタ]シートを参照。

リネーム：設定データの新旧情報を確認し、名称変更をしています。

追加：設定データのA列が空欄の場合、該当フィルタを基本フォルダパス内の「B_ARCHITECTURE_STRUCTURE.rte」よりコピーしています。

削除：設定データのB列が空欄の場合、削除しています。

⑤マテリアル：リネーム・追加・削除

リネーム：設定データの新旧情報を確認し、名称変更をしています。

追加：設定データのA列が空欄の場合、該当マテリアルを基本フォルダパス内の「B_テンプレート_マテリアル.rfa」より追加しています。

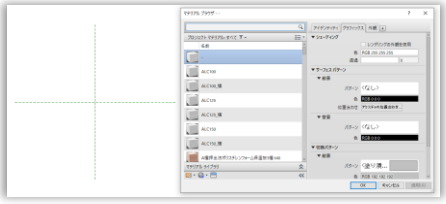
削除：設定データのB列が空欄の場合、マテリアルブラウザ・未使用の項目を削除から削除しています。

⑥オブジェクトスタイル：マテリアル設定

設定データ「B1TemplateManager.xlsx」内の[マテリアル設定]シートを参照。

設定データのA,B,Cの情報を基に、マテリアルの割り当てを行います。

▼B_テンプレート_マテリアル.rfa：マテリアル情報のみのデータ

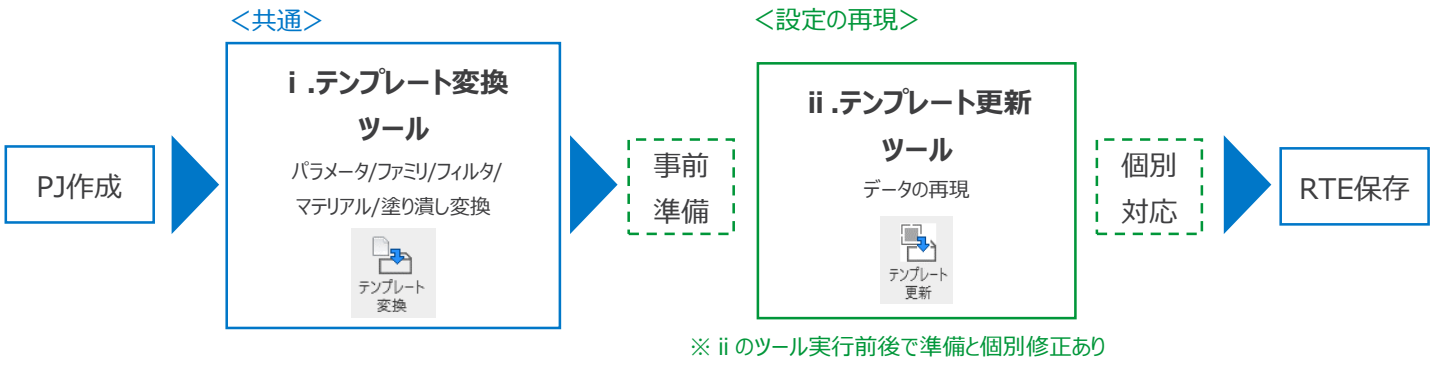


⑦塗りつぶしパターン：リネーム・削除

リネーム：設定データの新旧情報を確認し、名称変更をしています。

削除：設定データのB列が空欄の場合、削除しています。

■対応フローの全体の流れ



変更したいテンプレートのプロジェクトを新規作成し、プロジェクト保存をする

↓

i . [テンプレート変換]ツールを実行する

前述記載の「[テンプレート変換]ツールが実行していること」の内容が実行されます。
①プロジェクトパラメータ：リネーム・追加・削除
②ローダブルファミリ：リネーム・更新
③システムファミリタイプ：リネーム
④フィルタ：リネーム・追加・削除
⑤マテリアル：リネーム・追加・削除
⑥オブジェクトスタイル：マテリアル設定
⑦塗りつぶしパターン：リネーム・削除

↓

事前準備

ビュー、シート、ファミリ：更新に伴う不要な項目の削除
サブカテゴリ：不要な項目削除

↓

ii . [テンプレート更新]ツールを実行する

集計表：結合状態や書式設定の再現
製図ビュー/シート：Legacy版以降に追加になったビューの追加
ビューテンプレート：線種設定などの再現

↓

個別対応

集計表：プロパティ設定の再現対応
ビュー/シート：シート内の調整
システムファミリ：断面タグ・立面タグ・吹き出しタグ・通芯・レベルの再現、不足タイプの追加、プロファイルの割り当て
ロード可能なファミリ：マテリアル設定の再現
フィルタ：フィルタ規則の再現
マテリアルアセット：新マテリアルアセットを再設定
カラースキーム：設定の再現
塗り潰し：名称変更

↓

テンプレートデータとして保存する

詳細な手順につきましては、「BooT.oneテンプレート変換手順書_ver2.9.0.pdf」の資料をご参照ください。
手順書の案内では、BooT.one ver2.9.0リリース時の「B_ARCHITECTURE_legacy.rte」を例に
最新の状態へ変更する手順をご案内致します。(今後、集計表の名称など変更になる可能性がございますのでご留意ください。)